



編集発行  
愛媛県立八幡浜高等学校  
P T A 広 報 委 員 会

# 卒業おめでとう!

～先生方からメッセージ～



## 祝 卒業

—平成から令和へ—

校長 佐伯 鈴乃

めでとうございます。また、保護者の皆様  
衷心よりお慶びを申し上げます。  
皆さんとは二年間ともに過ごしました。運  
動部、文化部ともに活躍で、文武両道を  
実現してくれました。私も皆さんとともに、  
三十六年間の教員生活を八高で卒業します。  
八高での二年間は、私の人生最大の誇りです。  
本当にありがとうございます。  
皆さんの前途に幸多かれと祈りつつ。



3-1



3-2



## 卒業おめでとうございます。

三年主任 松本 照子

三年前、保健や体育の授業を  
一緒にするなかで、中学生気分  
が抜けきれない思春期真っ只中  
の君たちが大人になっていく姿  
は想像できませんでした。……  
昨年四月三十日に平成の世が  
幕を閉じ、五月一日の午前零時、  
令和の扉が開きました。令和  
初の卒業生となる君たちは、夢  
に見た新時代に希望を託す一人  
なのでしょ。……  
二期終業式後の学年集会で、  
生徒指導・進路指導講話を食  
入るように傾聴する一人一人の  
横顔がずいぶん大人に見えまし  
た。日々の学校生活での「他者  
への優しさ」や「思いやりの行動」  
をみても、いよいよ思春期も八  
幡浜高校も卒業です。……  
今は、君たち一人一人の前途  
に幸多かれと心より願うばかり  
です。



3-3



3-4



## 卒業おめでとう

水口 幸成

君たちが初めて八幡浜高等学  
校の門をくぐったあの日から  
どれほどの月日が経ったか。ど  
こか幼げに見えた表情も、今で  
はすっかり自信に満ちています。  
君たちの笑顔、真剣なまなざし、  
汗と涙の日々は、私達の心の中  
に残っていますよ。これから君  
たちが進む道には、人生の先輩  
が残した足跡があります。迷つ  
たときには立ち止まり、足跡を  
探して道標にしてください。卒  
業しても君たちは一人ではあり  
ません。安心して歩みを進めて  
ください。



3-5



### 縁の下の力持ち

放送部 保護者 村上 剛

放送部の活動は、主に学校行事の裏方です。集会の時は朝早く登校して機器の準備をし、サマフェス・文化祭やダンス部の発表会の手伝いもします。運動会ではアナウンス



と撮影の両方を担い、自分の出番に間に合わないこともありました。あとのDVD制作では連日帰りが遅く、「編集したものが全部消えた」ということもあったようです。

その合間に放送コンテストの原稿作り・練習があり、学年でただ一人の部員になった時には、責任感が強すぎる性格を心配しました。思いがけずたくさんの後輩が入部して下さった時には、とても喜んでいました。一人で抱え込むのではなく、協力し合うことの大切さを学んだように思います。

目立たず、縁の下の力持ちのように陰で頑張る息子のイメージしかありませんでしたが、最後の体育祭での、堂々としたアナウンスの声には感心しました。優しい先輩や協力してくれた同級生、後輩の皆さん、先生方に支えていただきましたこと心より感謝申し上げます。ありがとうございます。



### 文芸・新聞部に感謝

文芸・新聞部 保護者 大黒 妙子

一年生の時の担任の細川先生に、誘われて入部した文芸部。運動部と違い、華のある訳でもなく、目立つことのない、何が良くて入部したのだろうと思いました。

八高新聞を作成することになったって、運動することも好き、スポーツ観戦することも好き、それらを生かして八高生の活躍を、見て、感じて思ったことを分かりやすく、新聞を通して生徒や保護者の方々に伝えることにやりがいを感じた様です。それらの活動を、愛媛新聞の方や八西CATVの方達の協力の下、積極的に

参加させていただき、より社会勉強になった様です。その協力のお陰でテレビや新聞にも載せていただき、初めて活動しているんだなあと実感しました。何事にも一生懸命取り組む姿勢は、今も昔も変わっておらず、苦手な文章作りも苦戦していたことでしょう。しかしその分出来上がった時の達成感は、部員全員の協力があった事で、文芸部を通しての貴重な経験はこれから先の人生に生かせるでしょう。

最後になってわかりました。この様な素晴らしい経験によって大きくさせてください。先生方ありがとうございます。お世話になりました。

### ビジネス部に入学して

ビジネス部 保護者 佐々木郁子

「ビジネス部に入るよ。」入学して間もなく、息子がそう言いました。

ビジネス部は、簿記とか珠算とかの活動だけでなく、パソコン入力、つまりタイピングの活動をするのだと聞かされ納得しました。オタクの彼にびったりだと思っただけです。先輩にもよくしてもらっているようだし、楽しく部活をしているようで安心しました。



一年生から県大会に出場させてもらいましたが、この三年間で、一番頑張ったと思えるのは三年生として臨んだ最後の大会です。有終の美を飾るように、四国大会への切符をつかみ取ったのです。

この三年間、新しい学校生活の中で、何よりも実のある時間が過ごせた部活動だったと思います。お世話になった先生方、先輩方、そして部員のみなさんには、感謝しかったです。ありがとうございます。

### コーラス部での三年間

コーラス部  
保護者 水成ひろみ

入部を決めた時、一年生は娘一人だけと聞いて、大丈夫かなと少し心配になったことを覚えて、娘は毎日楽しそうに部活に取り組んでいました。低い地声から高い頭声に変えていくファルセットを「ウ〜〜」とひたすら繰り返すうちに、高く澄んだ大きな声が出るようになっていました。そして気が付けば最後のサマーフェスタ。ただ一人の部員になった娘は、舞台上の上でしっかりと前を向いて熱唱していました。井上唯先生との二部合唱、独唱、そして最後は井上唯先生と濱邊

### 日本文化部に感謝

日本文化部  
保護者 佐竹 恵美

中学校の三年間を箏曲部で頑張った娘は、高校になって、やはりお箏に触っていたいと日本文化部の箏曲部門に入部しました。

サマーフェスタ、高文祭、文化祭などの活動も、家族は遠方なのと仕事で、ほとんど見に行くこともできなかつたのですが、いつも楽しそうに報告してくれました。国際的な交流が盛んになった今日、自国の文化をより深く知ること大切だと思えます。この部活動での経験が一助になればと思います。

入学したばかりのころは、初めての汽車通学や見知った同級生の一人もいない学校：といういろいろ心配しましたが、優しく楽しい先輩や同級生、後輩の皆さん、そして御指導



いただいた先生方に支えられて、充実した部活動ができたようです。本当にありがとうございました。

### 科学の世界へ

自然科学部  
保護者 有本知亜希

「スイヘーリーベ〜魔法の呪文〜」と出会った小学生の頃。それ以来、娘は科学の世界に魅了され、いつの間にか自然科学部に入部していました。

こっそり見に行った科学の祭典では、子ども達と一緒に笛を作って、楽しそうに活動している姿が見られ、嬉しく思いました。

二年生の冬休みには、毎日のように物理室に通い、研究に没頭しました。『Iphoneの音声認識の限界を探る』とい

うテーマで、男女五人ずつの「あ」「い」「う」「え」「お」の声を録音し、フーリエ解析し、波形を調べました。この研究では、理工学コンテストで優秀賞を受賞することが出来、素晴らしい経験をさせていただきました。

一年生の時、初めての大会ながらなかなかの成績を残した際、笑顔でうれしそうに結果を報告してきたのを覚えています。

今まで御指導いただきました先生方と、一緒に楽しく活動してくれた部員の皆さん、本当にありがとうございました。

普段何事にも飽き性ながら、将棋には将棋用の参考書を買うほど真剣に取り組んでおり、二年生になったときには、知らない間に部長にもなつて多少の自覚や責任感が生まれていったようで、成長を感じることができました。

家族では将棋についての知識は疎いので特に何かするでもなく、放任していましたが、充実した部活生活を送ることが出来ていたようです。



### 将棋部での三年間

将棋部  
保護者 清水としみ

中学校では入れる部活が少なく、高校に入り様々な選択肢があった中、息子が選んだのは将棋部でした。



# 修学旅行



## 関東班

### 『大満足の修学旅行』

出発当日、六時すぎに体育館に集合し、いざ松山空港に。一時間のフライトはあっという間でした。お台場で昼食を取った後は選択研修でパナソニックセンターへ。最先端の機器に触れながら、パズルや円周率など様々な体験をしました。夕食は、東京ドームホテルでの食事。これが豪華でびっくりしました！生徒たちのテンションもヒートアップ！先生方もヒートアップ！カニやローストビーフが食べ放題。先生方も一心不乱にカニに食らいつきます。幸せすぎます！なんて日だ！

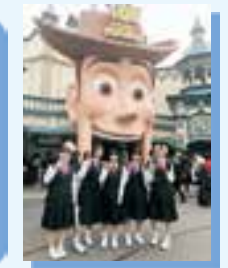
二日目は班別自主研修。生徒たちは、浅草寺や東京駅など名所を訪れました。夜はよしもお笑いライブを堪能。テレビで見るとは目が前にいるではないですか！なんて日だ！お笑い生で見ると最高ですね。

三日目はデイズニールリゾート。女子生徒たちは、デイズニールグッズを身にまとい、ハイテンション！私は広場で行われるショーにきげ付け。乗り物もいくつか乗りました。仕事であることを完全に忘れていきます(笑)宿泊は、デイズニールのシエラトンホテル。泊まった部屋なんとベッドが五つ！豪華すぎます！なんて日だ！

四日目は、そなエリア東京でタブレットを使った防災体験学習。一番驚いたのがオペレーションルーム。災害発生時に国の拠点となる部屋を見学することができました。最後はすしぎんまいにて、お寿司を堪能。

この四日間は日々の忙しさを忘れ、楽しい時間を過ごすことができました

(二年三組担任 大政 康志)



### 待望のアサヒビール園

人権・研修委員長 林 善法

8月3日(土)  
保護者 24名  
教職員 9名

八月三日土曜日、毎年恒例となっているPTA研修旅行が行われました。今年度は「加計学園岡山理科大学今治キャンパス獣医学部」の施設見学が目的です。約二時間で到着し担当の方から説明を受け、施設内の見学となりました。建物も新しく充実した設備、また、獣医学部という全国でも数少ない学部であるため、保護者の方々もお話される内容に熱心に耳を傾けていました。このようなキャンパスで学生がいきいきと学習できる環境に、とてもうらやましく感じました。

大学見学の後は、しまなみ海道に入り大島にある「よしうみいきいき館」で昼食をとりました。新鮮な海鮮御膳をいただき、大満足の昼食でした。その後、「来島急流観潮船」に乗船し、急流体験を行いました。この日は、大潮・快晴で観潮にはもってこいの日。潮の流れはレベル三(最大レベル九)。これでも潮の流れは十分速く、たまにスプラッシュマウンテンのようなしぶきと悲鳴があがりました。





# 北海道班

## 『イランカラプテ、北海道!』

頼もしい団長の指揮のもと五十九名の生徒たちと北海道へ出発!乗客の九割が八高生だった小型飛行機であつという間に新千歳空港へ。離陸、着陸時は、まるでアトラクションのような反応を示す生徒たち!北海道はバスの窓いっぱい草原や畑が広がり、まるで外国に来たかのように。牛や馬がのんびりしていて、こちらを見て微笑んでくれていました。箱根牧場では、一頭の牛のお乳を全員で交代して絞りました。おとなしく絞らせてくれる牛の心も広い!機械が壊れるほど力も思いも込めて作ったバターは、塩味の効いた新鮮な味わいでした。夜は森の中にたたずむキロロトリビュートフォリオ。シャンデリアが輝き、豪華な時間を過ごしました。なんと支配人さんは八高OBの方!改めて、八高はすごい!

二日目は尻別川ラフティングへ。到着後瞬間にウエットスーツに着替え、個性豊かなスタッフの方々と爽やかな風を切りながら、大自然の中を約八キロの川下り。小樽で班別行動後、夜ご飯はジンギスカン!お腹がはちきれんかと思いましたが!

三日目は羊ヶ丘展望台へ。クラーク博士と写真を撮り、羊乳アイスを堪能しました。白い恋人パークでは、お菓子の製造風景やバラ園を見て回りました。大倉山のジャンプ台の大きさに圧倒され、夜景を楽しんだ夜でした。

最終日は海鮮の朝食後、サッポロピリカコタンで皆アイヌの昔話や魚の皮でできた服などの展示物、昔の遊びに興味が津々。ここで覚えたアイヌ語がイランカラプテ(こんにちは)です。お昼はノーザンホースパークで焼肉バイキング!これもまたお腹がはちきれましたね!様々な出会いや楽しく旅行が出来たことへの感謝の気持ちを胸に、これからの日々を大切にしていこう。終始半袖で過ごした男子数名、体調を崩さなくてよかったです。皆さん、素敵な時間を共有してくれてありがとう。北海道も思い出も、でつかいどつ!

(二年一組担任 新田 歩美)



初めて観潮船に乗られた方が多く、みなさん大満足でした。

その後、「周ちゃん広場」で野菜や果物の買い物を楽しんで、私にとってはメイイベントである「アサヒビール園」へ向かいました。おいしいビールとジンギスカンに舌鼓を打ち、大変有意義な一日となりました。

研修旅行の計画・運営から当日まで尽力してくださった先生方、参加していただいた保護者の方々、本当にありがとうございました。





# 文化祭

## 文化祭手伝い記

今泉絵梨加

八高の焼きそばはおいしいと評判です。それもそのはず、ソースだけでなく出汁と塩こしょうで味付け。ソースもお好みソースと焼きそばソースを独自にブレンドしたオリジナルです。まずは宣伝でした(笑)

文化祭前日のお手伝いは、野菜切りとソースのブレンドです。私は仕事の都合上、一時間遅れで参加しましたが、ほぼ終了してしましました。さすが皆さん手際がいい!! ほぼ何もせず、お茶菓子だけちやつかりと頂きました。お茶で一息ついた後はフリーマーケットの値段付けをしました。これが意外と難しく、深く考えてしまうと分からなくなるので勢いで付けていきました。他の皆さんも同様、PTA副会長のF岡さんはぬいぐるみに一心不乱に十円の値札を付けていましたが、その中にデイズニーシーでしか購入できないダッフィーの姿が!! 「それはあかんやろ」とみんなでつつこんだり、ワイワイと楽しく作業しました。

いよいよ当日。いずしね館下は熱気でいっぱいです。お母さんが大きな鉄板に具材を投入し、お父さんが炒める。できあがったらお母さんたちが一気にパック詰め。それぞれのパートに分かれて流れ作業もだんだんと板につけてきました。途中野球部員も応援に駆けつけてくれて、おそらく中学校の家庭科で作ったであろう体格の割には小さいエプロンを付けた姿に、おばちゃんは心なみしました(笑) 八〇〇食という大量の焼きそばを皆さんの協力が無事に作る事ができました。私は今回が初参加でしたが、昨年もその前も参加しておけばよかったかなとちよっぴり後悔。作業しながら先生や保護者の方とワイワイ情報交換もでき、とても充実した楽しい時間でした。来年も微力ながら頑張ります。皆さんもぜひ、ご参加ください。損はありませんよ(笑)



## 文化講演会

### 素晴らしき先輩

村上 慶子

十一月一日金「世界で一番おいしいコンフィチュール」と題した、二宮従子氏・斉子氏のお話を拝聴しました。

姉妹であるお二人は、JALのCAとして長年勤められ、様々な国の食や文化に触れた経験をも、コンフィチュール作りに生かしておられます。従子氏は、高校時代にCAの夢を語った際に、担任の先生が背中を押してくれたことが嬉しかったそうです。斉子氏は、CA時代に二年間の留学休職を取り、お菓子作りや陶器の鑑定を学ばれ、様々な出会いと経験が今に繋がっていると話されました。世界大会金賞受賞、フォートナムメイソン本店の年間販売権獲得等、遠い世界の事のように感じながらも、母校の卒業生が成し遂げられた事を、とても誇らしく思いました。お二人の「夢を諦めないで」「夢はきつとかなう」というメッセージは、子ども達を温かく励まして下さいました。

世界中を飛び回った華やかな経歴の陰には、きつと多くの苦労や努力があったのではと感じました。また、お二人が感謝されているその時々々の「出会い」も、ただ待っているだけでは巡り合うことのないチャンスだったことでしょう。

二宮姉妹のコンフィチュール作りの根底には、幼少期に味わったお母様手作りの味の記憶と、地元を活性化したい・地域に貢献したいという思いがあることを、強く感じました。著者においても、そのレシピを惜しみなく公開される等、故郷の柑橘の魅力を広めるために精力的に活動されています。

自身の夢をかなえ、さらに地域振興に尽力されているお二人の姿は、この日、進路を考える子ども達の背中を優しく押して下さいましたに違いありません。



秋季県展特選・美術工芸部門優秀賞

美術部二年 中川 燈子

秋季県展で特選を、愛媛県高校総合文化祭で優秀賞をいただきました。どちらも、友人を主題に描きました。県展出品作品の「途上」では特に、構図にこだわりました。背景に下校する人、長い廊下を描き、絵に奥行きを出しました。また、人物に目が行くよう背景は微妙な色味を出しつつ、落ち着いた雰囲気でもとめました。

高文祭の「ジヨブナイル」という作品では、一点に目を引くため、右目付近を精巧に、その他は粗く描きました。色やモチーフで少年期という意味の題にあった表現に努めました。

どちらの作品も、主題の人物は写実的に描き、目や肌の質感の表現に力を入れました。また、人物が不自然に浮き出ないように、絵全体の統一感を意識して背景となじませつつ、重要な部分は協調する、その両立に苦労しました。今回、このような賞をいただけ



秋季県展特選



県高文祭優秀賞

秋季県展・愛媛県高校総合文化祭

美術工芸部門優秀賞

美術部二年 阿部 莉子

愛媛県高等学校総合文化祭で、優秀賞をいただきました。今回、ノスタルジックな雰囲気表現したくて、この作品を描きました。特に意識したところは、人物の色彩です。顔や服の所々に蛍光色を入れて色味を足し、繊細に描くことでより幻想的になるようにこだわりました。また、黒色の絵具は使用せず他の絵具で黒を表現したり、彩度によって三種類の白色を使い分けたりと、絶妙な色の変化が楽しくて、美術の奥深さを感じさせられました。

今回、十一月に開催された愛媛県高等学校総合文化祭美術・工芸部門で、優秀賞をいただくことができました。高文祭では、他の人の作品を見たり批評し合ったりと、お互いを高め合うことができ良い経験となりました。この作品には多くの時間を費やしました。特に時間をかけたところは、シャツのしわや影です。初めに色を塗ってしまいがちですが、全体的に黒っぽくならないように色味を足すことに、上から薄く影の部分に色を重ねていきました。その目に

美術工芸部門優秀賞

美術部二年 菊池 梨帆

今回、十一月に開催された愛媛県高等学校総合文化祭美術・工芸部門で、優秀賞をいただくことができました。高文祭では、他の人の作品を見たり批評し合ったりと、お互いを高め合うことができ良い経験となりました。この作品には多くの時間を費やしました。特に時間をかけたところは、シャツのしわや影です。初めに色を塗ってしまいがちですが、全体的に黒っぽくならないように色味を足すことに、上から薄く影の部分に色を重ねていきました。その目に

今回、十一月に開催された愛媛県高等学校総合文化祭美術・工芸部門で、優秀賞をいただくことができました。高文祭では、他の人の作品を見たり批評し合ったりと、お互いを高め合うことができ良い経験となりました。この作品には多くの時間を費やしました。特に時間をかけたところは、シャツのしわや影です。初めに色を塗ってしまいがちですが、全体的に黒っぽくならないように色味を足すことに、上から薄く影の部分に色を重ねていきました。その目に

美術工芸部門奨励賞

美術部二年 上原 璃乙

入部した時から憧れていた全国大会に出展させていたことが本当にうれしく、光栄に思います。搬入当日も描き、心が折れそうになった時もありました。切磋琢磨したみんな、最後まで指導して下さった井上務先生への感謝の気持ちでいっぱいです。大好きな美術を通して、自分を高められる環境を幸せに思っています。今後も精進していきます。



書道部門奨励賞

書道部二年 菊池 さくら

私は今回、「相貌」という作品で奨励賞をいただきました。高文祭では、他校の美術部の先生方に御批評していただきました。また、生徒間での批評もあり、作品を作るにあたって自分自身が工夫したことなどを発表し合いました。自分が知らなかった技法など勉強になることを聞くことができ、充実した一日になりました。今回の作品は、前回描いた作品とはイメージの全く異なった作品に仕上げました。背景も抽象的なものではなく、廃墟ビルを描き、隅々まで丁寧に描きま



の部分などはあえてあまり書き込まず、背景の木の陰では緑の部分で少し濃くするなど工夫を重ねて完成させていきました。作品が完成するまでの間、何度も悩みうまくいかないことばかりでしたが、その度に先生や友人に意見をもらい、完成しこのような大きな賞をいただくことができました。感謝を忘れず学んだことを糧として残りの時間を大切にしていきたいと思えます。



した。また、前回は色彩を意識して鮮やかな作品にしましたが、今回の作品では、灰色、青などを基調とし、全体的にまとまった色になりました。今回の作品が完成するまでの間、先生の御指導や部員からのアドバイスを参考にしながら作品を手掛けました。自分が成長できたともありがたい時間になりました。残りの作品期間も意味のある時間になりたいです。

書道部門奨励賞

書道部二年 菊池 さくら

十一月に開催された愛媛県高等学校総合文化祭で、奨励賞をいただくことができました。

今回の作品は昨年のもので、字体は同じですが、紙のサイズが大きく、数字も増えました。初めての挑戦で、それぞれの行の最後がそろわなかったり、文字と文字の間隔がうまくとれなかったりしましたが、先生方の御指導や書道部のみなさんから作品についてのお見

今回の作品は昨年のもので、字体は同じですが、紙のサイズが大きく、数字も増えました。初めての挑戦で、それぞれの行の最後がそろわなかったり、文字と文字の間隔がうまくとれなかったりしましたが、先生方の御指導や書道部のみなさんから作品についてのお見

皇帝展在特冠經營四方運乎立年  
撫臨億兆始以武功壹海内終以文  
徳懐遠人東越青丘南踰丹嶽

# 県大会十四連覇

## 八幡浜の魅力発信

商業研究部三年 矢野光士郎

八幡浜市は漁業が盛んで、二百種類以上の魚種が水揚げされています。しかし、水揚げされる魚の中に「未利用魚」と呼ばれる商品価値の低い魚が存在します。僕たちは未利用魚の商品価値を高めるために、給食交流会や販売活動を行いました。

県大会では、昨年度から行ってきた活動がソーシャルビジネスにつながることを発表し、十四連覇を果たしました。また、四国大会で優秀賞(二位)をいただき全国大会に出場することを決めること

ができました。全国大会では各校のレベルの高さに圧倒されました。自分たちの地域資源を生かした問題解決をしっかりとした仮説をもとにビジネスプランの実践が行われていました。また、発表方法も工夫されており、高いレベルのプレゼンを見ることができました。今回の全国大会に向けての活動でまた一つ八幡浜の良さを知ることができました。

きませんでした。多くの方々に協力していただいたからこそ、様々な活動が実践できたと感じています。八幡浜市には多くの魅力がありますが、それがあまり知られていないのが現状です。そのため、これからも地元の良さを市内外の人たちに発信していきたい、八幡浜市の活性化に貢献していきたいです。



# 四国大会出場

## 四国大会に出場して

将棋部二年 大西優太郎

私は、「愛媛県高等学校総合文化祭(将棋部門)」で出場権を得て、徳島県で行われた四国大会に出場しました。

昨年と同様に今大会も、二日間をわたって行われ、初日は四局、二日目は三局、計七局を、一局一時間で指すという、激しい集中力と忍耐力を要するものでした。会場は徳島グランドホテル偕楽園という旅館で行われ、張り詰めた緊張感の中、今までの経験を生かそうと心掛けリラックスして対局に臨みました。しかし、初戦のミスで自分

の弱さに心を乱し調子を粉々に崩してしまいました。ぎりぎりのところで踏みとどまれたのは、壮行会で激励していただいたからだと思います。応援してくださって、ありがとうございました。

将棋は個人技ですが、一人では勝てない競技なので、今後も仲間とともに切磋琢磨していこうと思います。



# 県駅伝十三連覇と四国大会二連覇

## 心で継ぐタスキ

### タスキで継ぐ心

努力は不可能を可能にする

陸上競技部女子長距離主将 菊池 香帆

十一月三日、十一月十七日 私たちの努力が結果となって返ってきました。

三月に心の支えとなつて頂いていた三年生が卒業し、残った選手は四人となりました。このままでは駅伝の大会にも出場できない状態でしたが、五人の新入生が入部してくれました。しかし、中学校時



代に目立った競技成績を残している選手ではありませんでした。

昨年までは絶対的なエースの存在があり、先行逃げ切りの理想的なレース展開で勝っていました。今年には多くの人が「十三連覇は無理だろう」と感じていたと思います。私自身も、ライバル校と比較して、部員数も記録的にも劣っていると

感じていました。しかし、一年生が入学してからの半年間で驚くような記録の向上をみせ「頼れる存在」になってくれました。これも一時間半という短い時間の中で、高い意識と集中力を持って練習に取り組んだ成果だと思っています。

十一月三日の県予選では、一区から首位を譲らず、全区間区間賞で快勝することができました。その後の四国大会でも一度も首位を譲らず独走し、二年連続五度目の優勝を果たすことができました。「四国一のチーム」となりました。

中学時代は「四国一」など夢の話でしたが、努力が「夢をかたち」に「特別を当然」にしてくれました。このような結果を出せたもう一つの理由は、日々の生活を支えてくれた家族とチームミーティングで「み

## 編集後記

「広報委員会以外であれば」七年前 当時のPTA会長さんから理事依頼にそう答えた。まさか四年間も、どつぱりと広報委員会にお世話になるとは考えもしなかった。

担当の先生方、委員会のメンバーの皆様のおかげでよいよ楽しかったです。大変お世話になりました。食事会の段取りにもますます磨きがかかった気がします。また、原稿執筆等、広報紙発行に携わって頂いたすべての方々、本当にありがとうございました。感謝です。

我が広報人生に、一片の悔い無し。あつ！ただ一つ、『祝！甲子園出場』の号外をこの手で出したかったなあ。

〔広報委員会副委員長 山脇 功〕

